

成長段階別 聴覚・発話チェックリスト

出生から生後3か月まで

- 聞きなれた声や音に引き付けられる
- 急に大きな音を聞くと驚いたり、勢いよく体を動かしたりする

3-6か月

- 興味を持った音の聞こえる方に目や頭を向ける
- 聞いているように見える
- 音がするとすぐ目を覚ます
- 発話のような音声を発し始める

6-12か月

- 「ダメ」や「バイバイ」といった簡単な言葉を理解する
- 発話を真似し始める
- 小さな音に顔を向ける

12-18か月

- 週を追うごとに新しい言葉を理解しているように見える
- 質問されると、人や体の一部や玩具を指す
- 「座って」などの簡単な話し言葉による指示に従う
- 実際の言葉を2-3語言う。例)「ボール」「犬」「車」

お子様の聴覚について何か心配な点があれば、かかりつけの医師か、地域のクリニックのスタッフにご相談ください。



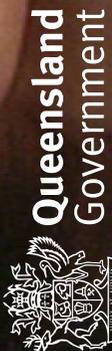
www.health.qld.gov.au/healthyhearing

クイーンズランド保健省の健康聴覚プログラムは、永続的な難聴を生まれつき持つ乳児を発見するためのもので、クイーンズランド州で生まれ、メデイケアの対象となる赤ちゃんは全員無料で受けることができます。

Reviewed 2018

赤ちゃんの聴覚スクリーニング

聞こえているかどうか、どうやって調べるの？



Queensland Government

赤ちゃんの聴覚スクリーニング

正常な聴覚は、生まれた直後から、お子様の発話と言語の発達にとって非常に重要です。1000人に約1-2人の乳児が、重い難聴を抱えています。

難聴を早期に発見しないと、お子様の発話と言語の発達、さらには将来、学校での学習に影響を及ぼすことになりかねません。

乳児の健康診断の一環として

健康聴覚プログラムのねらいは、永続的な難聴を生まれ付き持つ乳児を発見することです。プログラムは無料で、クイーンズランド州で生まれ、メディケアの利用資格を持つ乳児全員が対象となります。

お子様は生後、健康診断を何種か勧められますが、その一つが難聴スクリーニングです。このスクリーニングは生後できるだけ早く受けてください。出産後に退院する前にスクリーニングを受けなかったとしても、退院後すぐに外来でスクリーニングを受けられます。

スクリーニングはどのように行われるのですか？

聴覚スクリーニングで赤ちゃんが痛い思いをすることはありません。看護師が聴覚スクリーニングの訓練を受けた担当者が、赤ちゃんが静かにしている時や眠っている時にスクリーニングを行います。小さなパッドを数枚、赤ちゃんの頭にそっと乗せ、柔らかいイヤホンを両耳に軽くかけます。その後一連の弱い音を流します。音に対する赤ちゃんの反応をパッドが記録します。

いつ結果がわかるのでしょうか？

スクリーニングの結果はすぐにわかり、赤ちゃんの個人健康記録に記録されます。スクリーニング担当者が検査結果について相談にのりますので、よくわからないことがあれば、お尋ねください。

スクリーニングで何がわかるのですか？

それぞれの耳について、「パス (pass)」か「要紹介 (refer)」かの結果が出ます。スクリーニングでは、赤ちゃんの聴覚についての詳しい状態まではわかりません。

「パス (pass)」とはどういう意味ですか？

両耳の「パス (pass)」は、赤ちゃんが発話と言語の発達に影響する難聴を持っている可能性は低いということを意味します。

少数の赤ちゃんは、スクリーニングにパスしても、発症まで時間のかかるタイプの難聴に関する既知の危険因子を持っていることがあります。お子様が該当する場合は、1歳の誕生日を迎える前に言語聴覚士による聴覚検査を勧められます。検査のタイミングは、お子様独自のニーズによって変わります。上記の危険因子を持つ乳児のうち、難聴を発症するのはごく少数ですが、お子様がこの検査を受けることは大切です。

全ての乳児と幼児の聴覚は時とともに変わり得ることにご留意ください。赤ちゃんやお子様の聴覚について心配な点があれば、かかりつけ医やお住まいの地域のクリニックのスタッフにいつでもご相談ください。聴覚検査は赤ちゃんやお子様は何歳であっても実施できます。

の聴覚スクリーニング 予約

.....
日付
時間
場所

「要紹介」とはどういう意味ですか？

聴覚スクリーニングで「要紹介」という結果が出た場合、いくつかの理由が考えられます。

- 赤ちゃんがスクリーニング中に落ちていていなかった。
- スクリーニング中に周囲の雑音があった。
- 赤ちゃんの耳に液体が貯まっていた、または耳に一過性の閉塞があった。
- 一過性または永続的な難聴を持つ赤ちゃんは少数います。難聴の程度は軽度から重度までさまざまです。

お子様の最初の聴覚スクリーニングで、片耳または両耳で「要紹介」の結果が出たら、両耳の2度目の聴覚スクリーニングが行われます。

2度目の聴覚スクリーニングで、片耳または両耳で「要紹介」の結果が出たら、検査のため言語聴覚士に紹介されるほか、家族支援サービスにも紹介されます。また、この手順について詳しく説明した小冊子を追加でお渡しします。

詳しい情報を得るには？

聴覚検査についての詳しい情報は、お住まいの地域の病院、かかりつけの医師、またはお住まいの地域のクリニックのスタッフにお問い合わせください。

